



てだこ市民大学

てだこ市民大学第4期生

「卒業研究レポート」概要集

＜第4期生 37名＞

コミュニティビジネス・地域振興学部・・・9名

健康福祉・スポーツ振興学部・・・・・・・・11名

文化振興・教養学部・・・・・・・・・・10名

地域・学校支援コーディネーター養成学部・・7名

平成26年3月2日

浦添市「てだこ市民大学」

平成25年度 卒業研究テーマ

コミュニティビジネス・地域振興学部

	氏 名	テーマ
1	新垣 有太	自治会再生（西原1・2区自治会）
2	石嶺 直	発明した風車で電気料金を半額にし、 地球温暖化ガスを削減する
3	叶 信之	リノベーションスクール@沖縄
4	岸本 恵三	浦添市街づくり（観光化）
5	金城 田雄	自治会加入倍増（自治会入会）
6	金城 優希	コミュニティカフェの開業と琉球大豆復活に向けて できることからはじめよう ～島豆腐販売～
7	長嶺 和代	花と緑でハッピー てだこの街
8	保志門 るり江	浦添市の子育て情報を詰め込んだ 地域・行政・企業みんなで作る 『ウラソエ的子育て応援マガジン たいようのえくぼ』創刊
9	松田 厚子	英語が話せるようになるって素敵！です。 英語の対話力を身につける為フィリピンの弟の家 でホームステイをしませんか？





卒業研究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏名：新垣 有太

1. テーマ

自治会再生（西原1・2区自治会）

2. テーマ設定理由

3. 1 1 東日本大震災をテレビで目の当たりにし、横の繋がりが希薄化しつつある現在の社会に対し危機感を覚えた。

このことをキッカケに自治会の存在意義を改めて認識し、自治会における歴史・伝統・文化の継承や、その他社会福祉活動についても興味と責任を感じ自治会活動へ参画することを決意。また、郷土愛やアイデンティティから駆り立てられたこともテーマ設定の理由の一つである。

3. 項立て（研究内容）

1. 自治会とは！？
2. 自治会の存在意義は！？
3. 住民の実態（陽迎橋自治会が実施した住民意識調査結果）
4. 西原1・2区自治会の現状と課題
5. 早急に取り組む必要があること
6. 現在の具体的取り組み
7. これからの取り組み



卒業研究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏 名： 石嶺 直

1. テーマ

発明した風車で電気料金を半額にし、地球温暖化ガスを削減する

2. テーマ設定理由

自然エネルギーを利用した発電が可能な風車を発明して国際特許を取得した。その風車を利用することにより、電気料金を半額以下にし、さらに地球温暖化ガスを削減することができる。

3. 項立て（研究内容）

1. 電気料金を半額にするための概要
2. 支援制度の内容
3. 特許の内容
4. ベンチャー企業立ち上げに向けて
5. 終わりに



てだこ市民大学

卒業研究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏名： 叶 信之

1. テーマ

リノベーションスクール@沖縄

2. テーマ設定理由

私は、沖縄の人々の暮らしに対して建築から関わっていきたいと考えています。今、「リノベーション」という開発と保存、その両者を合わせた第3の手法が、沖縄の都市・まちづくりを 考えていく上でキーワードになるだろうと強く感じています。私は、「沖縄少年会館の解体」をきっかけに、リノベーションを強く意識するようになりました。

今後、日本では人口が減少していくことが報告され、加えて少子高齢化が進むにつれて財政難のひっ迫も叫ばれています。

そのことは、これまでのスクラップ・アンド・ビルドの方式を安易に選択できない社会構造へと移り変わってきたことを示しています。これからは、今ある建物を今後どのように活用していくか、日本全国がこの命題に向かいつつあるのです。

ここで私が提案することは、北九州家守舎が実施している「リノベーションスクール@北九州」を沖縄版に翻訳することが、今回私が取り組んだテーマです。

3. 項立て（研究内容）

- (1) リノベーションスクールとは？
- (2) 沖縄における課題
- (3) 沖縄におけるリノベーションの意義
- (4) 終わりに



てだこ市民大学

卒業研究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏 名： 岸本 恵三

1. テーマ

浦添市街づくり（観光化）

2. テーマ設定理由

浦添市が、街づくり（人集め）に力を入れており、そのためのフォーラムが開催されたとき、私も参加したことがあることからテーマとした。

3. 項立て（概要でも良い）

1. 浦添市の観光産業の現状

(1) 浦添市のイメージ

(2) 浦添市の観光資源

2. 活性化するための提案

3. 終わりに

卒業研究

学部名：コミュニティービジネス地域振興 学部

氏名：金城 田雄

1. テーマ

自治会加入倍増（自治会入会）

2. テーマ設定理由

地域に安全・安心・協力・助け合いの心を皆んなで
はぐくむ地域づくり

3. 項立て（概要でも良い）

- ① 自治会に加入しない理由は？
- ② こういう事をすれば入会する
- ③ 自治会に入れば特典がある
- ④ 自治会は皆んなのものである
- ⑤ 要望
- ⑥ 自治会の特徴とは？



卒業研究

学部名：コミュニティビジネス振興学部

氏 名： 金城 優希

1. テーマ

コミュニティカフェの開業と琉球大豆復活に向けて
できることから始めよう～島豆腐販売～

2. テーマ設定理由

現代社会は、人とのつながりが薄れてきているため、交流の場が必要だと思った。これからは小さなお店が増えることが地域のつながりと活性化に結びつくのではないかと思い、自分がまずは動く、起業をする。ということをテーマに学んできた。

3. 項立て（概要でも良い）

1. はじめに

～できることから始めよう～

2. 「島豆腐で健康いきいきプロジェクト in 前田」

3. 目的

4. なぜ豆腐なのか？豆腐の魅力

5. 参考活動

6. 目標と将来の夢

7. まとめ

8. おわりに



てだこ市民大学

卒業研究

学部名：コミュニティービジネス・地域振興学部

氏名：長嶺 和代

1. テーマ

花と緑でハッピー てだこの街

2. テーマ設定理由

- ・あなたは、何かうれしいことがあった時、反対に少し疲れ気味だったり、落ち込んだりした時に、ふと「花を買って帰ろうかな・・・」と思ったことはありませんか？
- ・花屋さんのウィンドウを覗いたり、ご近所や散歩道など「あっ、きれいだ・な～」と感じる花はありませんか？それだけで、すでに花たちからパワーを受け取っているのです。
- ・花が部屋にあるだけで、気分がパーッとあかるくなったり、リラックスできたり、優しい気持ちになったりした経験はあると思います。
- ・優しい気持ちになると全てがうまくいった経験はありませんか？
- ・浦添市民が花と緑で優しい気持ちになり、浦添市が花と緑で美しく魅力的な街に近づけばと思い設定しました。

3. 項立て（概要でも良い）

1. 浦添市の取り組み
2. 通り・通り会のとりのくみ
3. 自治会のとりのくみ
4. 浦添市への提案
5. 終わりに



卒業研究

学部名：コミュニティービジネス・地域振興学部

氏名：保志門 るり江

1. テーマ

浦添市の子育て情報を詰め込んだ
地域・行政・企業みんなで作る
『ウラソエ的子育て応援マガジンたいようのえくぼ』創刊

2. テーマ設定理由

浦添市は、市民の平均年齢も 39 歳とまさに子育て世代の多い街である。子育てしやすい街という評判もあり、保健相談センターや市役所の窓口などでも沢山の子育て情報が発信されている。さらに市内では子育てカフェや雑貨屋さん、おもちゃ屋さん、児童館や子育て支援センターなど、その他の子育て環境もかなり充実してきている。

しかし、情報が個々に発信されており、サービスの提供者と必要な人がうまく繋がっておらず、子育てで忙しい世代が情報を集め、ストックしづらいのが現状である。

特に子どもが小さいうちは、親も子育て初心者でどこから情報を探せばいいのか分からず、いいサービスが沢山あるのにも関わらず、知らずに利用していない人も多い。一方サービスを提供している側も、うまく情報を発信できずに悩んでいる。

現在、私は NPO たいようのえくぼの代表者として、沖縄の子育て初心者が欲しい情報を集めた情報誌、【オキナワ的子育て応援マガジンたいようのえくぼ】を沖縄全域で発行しており、その地域版の第 1 弾として子育て世代の多く住む浦添市から子育て情報の発行をしてみたいと考えた。

3. 項立て（計画内容）

- 1, たいようのえくぼ とは
- 2, 浦添市の子育てサービスの現状
- 3, 子育て世代の現状とフリーペーパー発行の意義
- 4, 『ウラソエ的子育て応援マガジンたいようのえくぼ』コンセプト
- 5, 制作イメージ
- 6, まとめ



卒業研究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏 名： 松田 厚子

1. テーマ

英語が話せるようになるって素敵！です。英語の対話力を身につける
為フィリピンの弟の家でホームステイをしませんか？

2. テーマ設定理由

英語で新聞が読めたら、ラジオから流れる音楽の意味がわかったら、
ネットに書いてある事がわかったら、パソコンのプログラムを組ながら
意味がわかったら、英語でコミュニケーションが取れたら、とわかる楽
しさにわくわくします。実現するためにステイ費用の安いフィリピンで
英語合宿をする事を提案します。

3. 項立て（概要でも良い）

1. 現地スタッフ solie について
2. フィリピンは、どんなところ？
3. リスク管理
4. このプランの良いところ
5. 終わりに

平成25年度 卒業研究テーマ

健康福祉・スポーツ振興学部

	氏 名	テーマ
1	大城 節子 高江洲 たつ子	障がい者とスポーツ ～ 市民の立場から・障がい者の立場から ～
2	亀谷 操枝	ひとり親世帯(母子家庭)の支援について
3	下里 幸子	食育で育む“健康寿命” ～ いつまでも イキイキ 美らライフ ～
4	棚原 正廣	母の認知症と向き合う毎日と家族の協力と共に生きる
5	津山 睦	福祉のまち てだこと共に
6	比嘉 幸	
7	備瀬 美子	地域の方々と、いつまでも健康で若々しく生きる為に！
8	真栄田 久	スポーツコンベンションで地域活性化
9	宮城 里江 山城 貞子	認知症について理解を深め、家族の笑顔をつなぐために ～ 母の介護を通して ～





卒業研究

学部名： 健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名： 大城節子・高江洲たつ子

1. テーマ

障がい者とスポーツ

～ 市民の立場から・障がい者の立場から ～

2. テーマ設定理由

・障がいのある人もない人も、共に生きる社会へのアプローチとして健常者と障がい者がスポーツで一緒に楽しみながら体を鍛える。そして、健康づくりができればいいなと思いテーマを設定しました。

3. 項立て（概要でも良い）

1、障がい者とスポーツの効果について

- ①市民の立場から
- ②障がい者の立場から

2、我が国の障がい者スポーツについて

3、障がい者スポーツの現状と課題について

- ①障がい者数について
- ②障がい者スポーツ人口（サン・アビリティーズうらそえにおける現状）
- ③障がい者の競技会について
- ④リハビリとしてのスポーツ
- ⑤スポーツ施設の整備

4、今後の障がい者スポーツについて

※参考資料：厚生労働省・政策レポート（障がい者スポーツ）
内閣府 障がい者白書



卒業研究

学部名： 健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名： 亀谷 操枝

1. テーマ

ひとり親世帯(母子家庭)の支援について

2. テーマ設定理由

離婚、未婚、死別等それぞれの理由で、ひとり親世帯が増加。
そのために母子家庭の親子を取り巻く環境は急激に変化し、
厳しい現状がある。 母親を支援することは、子ども達の支援に繋がる。
子ども達が毎日笑顔で健康に過ごせるよう支援の輪が広がることを
望みテーマを設定しました。

3. 項立て (概要でも良い)

- 1、ひとり親世帯の現状
- 2、ひとり親世帯の支援制度
- 3、まとめ



卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名：下 里 幸 子

1. テーマ

食育で育む“健康寿命”

～ いつまでも イキイキ 美らライフ ～

2. テーマ設定理由

・私は、健康・長寿のイメージが強い沖縄県が食の欧米化で生活習慣病が増え、健康とは言えない深刻な現実がある。
いつまでも健康で元気に暮らすには、市民一人一人が健康づくりに真摯に取り組み、生活・食習慣の見直し・改善・予防・対策が必要と思いテーマを設定しました。

3. 項立て（概要でも良い）

1、テーマ設定の理由

2、本論

（1）浦添市の人口について

a) 浦添市の総人口

b) 浦添市の人口構成

（2）浦添市の死亡の状況について

（3）浦添市の死亡の特徴について

（4）沖縄県健康について

（5）生活習慣病について

3、まとめ

4、謝辞

5、参考資料



卒業研究

学部名： 健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名： 棚原 正廣

1、テーマ

母の認知症と向き合う毎日と家族の協力と共に生きる。

2、テーマ設定理由

私の母は、今から約2年前に認知症を発症しました。

当初は、認知症とは知らず、様々な症状のシグナルがありながらも、認知症に対して無知だった為に、全然気づかないでいました。

例えば、自分で車を運転して買い物に行き、自分が運転してきた車の事を忘れてタクシーで帰ってきたり、また、買った品物を忘れ、そのまま一週間も放置したり、時には自分が何処にいるのかわからず、「迎えに来て」と連絡はするが、なかなか自分のいる場所がわからず、困ったこともありました。

今では、病院で入院治療を受けていますが、家族が面会に行くと「あんた、誰だった?」「どこの誰?」と自分の家族の顔さえ忘れてしまう様になりました。

これが私の母かと考えると、ホント可哀想でなりません。良くはならず、悪くなる一方の母の症状。いつになったら以前の様な、母になるのかなあと考えながら介護の日々を送っています。

誰もが迎える老い、これに伴う病気のひとつである”認知症“をこの機会に皆様に知ってもらいたいと考え、テーマを設定しました。

3、項立て（概要でも良い）

1、テーマ設定の理由

2、本論

- 1) 認知症とはどういうものか?
- 2) 老化と認知症の違いについて
- 3) 認知症の患者数について
- 4) 認知症の予防方法について
- 5) 家族や周囲のサポートについて

3、おわりに

※参考文献、資料など



卒業研究

学部名： 健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名： 津山 睦

1. テーマ

～ 福祉のまち てだこと共に ～

2. テーマ設定理由

・現在、自分自身が携わっているボランティアサークルが、今後継続する上で、後進の育成及び「あひるの会」をNPO 法人化し、水中運動の効果を最大限に活用し、活動域拡充に向け、行政側との連携が必要と感じ設定しました。

3. 項立て（概要でも良い）

はじめに

(1)「あひるの会」の紹介

(2)水中運動の効果

(3)今後の課題

(4)まとめ



卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏名：備瀬 美子

1. テーマ

～ 地域の方々と、いつまでも健康で若々しく生きる為に！～

2. テーマ設定理由

・私は、今までにいろいろな習い事(書道・茶道・琉舞・トールペイント等)をたしなんで来ましたが、中途半端であまり長続きしませんでした。この様な私に、ある友人の言った言葉が今でも心に残り、忘れられません。「人は最後に行き着く所はスポーツ(自分の健康づくり)そして、最後はボランティアになるよ」本当にその通りになりました。10年余り前からスポーツジムに通い、水泳を始めましたが、当初は全くのカナヅチで、顔すら水に入れられなかった私が、周りの人たちに励まされ頑張ったおかげで、今では1キロも休まないで泳げる様になり、日々、スポーツジムに通う時間が来るのが楽しい毎日にになりました。「継続は力なり！」で、今ではだいぶ上手になりました。それに1番うれしいのは、健康とスリムになった事です。それに若さまで！この経験を踏まえ、てだこ市民大学で2年間学んだ事を活かし、地域の皆様に心地よい運動で身体を動かし、笑顔でいつまでも身も心も元気な生活をして頂くお手伝いをするために、テーマを提案しました。

3. 項立て(概要でも良い)

1、テーマ設定理由

2、平均寿命と健康寿命

3、生活習慣と健康指標

4、健康体操

5、終わりに



てだこ市民大学

卒業研究

学部名：健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名：真 栄 田 久

1. テーマ

スポーツコンベンションで地域活性化

2. テーマ設定理由

・沖縄県は、国内で唯一の亜熱帯気候で、冬場でも温暖な気候はスポーツ大会の開催やキャンプ、合宿に国内では最適な地域といえるのではないのでしょうか。このような気候特性を活かし、浦添市が全国レベルの大会やキャンプ、合宿等を誘致する事により、プロ選手や一流選手と地域との交流が盛んになり、地域への経済効果も大いに期待できるものと思います。また、プロ選手や一流選手のプレーや練習を間近に見ることによって青少年に夢や希望、感動を与え、多くの青少年および地域住民がスポーツを愛し、取り組むことで青少年の健全育成、スポーツ向上にも役立つことでしょう。このようにスポーツコンベンションの誘致で経済効果、青少年の健全育成等、いきいきとした街づくり、地域の活性化に繋げることにしたいとの考えから、テーマを設定しました。

3. 項立て（概要でも良い）

はじめに

1、沖縄県のスポーツコンベンションの現状

(1)カテゴリ別件数

(2)種目別のキャンプ合宿実施件数

(3)主な開催会場(市町村別)のキャンプ合宿件数

2、浦添市のスポーツコンベンションの現状

3、スポーツコンベンション効果

(1)プロ野球キャンプの経済効果

(2)浦添市のPR効果

(3)青少年の健全育成、スポーツ力の向上効果

(4)市民の環境美化への取り組み

4、課題

5、まとめ



てだこ市民大学

卒業研究

学部名： 健康福祉・スポーツ振興学部

氏 名： 山城貞子・宮城里江

1. テーマ

認知症について理解を深め、家族の笑顔をつなぐために
～ 母の介護を通して ～

2. テーマ設定理由

・母が2、3年前より、同じ言葉の繰り返しや、物忘れが多く見られるようになり、加齢に伴う物忘れだと思っていました。私たちは、半信半疑な気持ちで病院を受診したところ、アルツハイマー型認知症と診断されました。それで、私達家族は各家庭の都合や動ける時間帯を考慮しながら、母の世話(介護)を始めました。
しかし、介護に対する思いが先走り、気持ちががきみ合わずギクショクしていききました。そこで、認知症について理解を深め、介護の仕方を工夫することで、家族が笑顔につながるのではないだろうかと考え、このテーマを設定しました。

3. 項立て (概要でも良い)

1、卒業研究のテーマ

2、テーマ設定理由

3、研究内容

(1) 認知症とは

①認知症の原因

・脳血管性認知症の特徴

・アルツハイマー型認知症の特徴

(2) 全国・浦添市の認知症高齢者の現状

①全国の高齢者における認知症の実態

②浦添市における高齢者認知症の実態

4、母の介護の実践

(1) 実践例

・事例1:母の一週間のスケジュールと役割分担

・事例2:なんでも帳(ノート)を通して互いの思いが通じあった事例

・事例3:メモ用紙を見て行動に移せるようになった事例

5、まとめ

6、おわりに・今後の課題

※参考文献・資料

平成25年度 卒業研究テーマ

文化振興・教養学部

	氏 名	テーマ
1	安慶名キヨ子	～ 仲 西 の 獅 子 舞 の 由 来 と 今 ～
2	垣花 律子 仲程 邦博	舜 天 王 『初代琉球の王・舜天について』
3	國吉 清	沢岷集落で謡われていた 古謡「 ^{アマウエーダ} 天親田」の再現の試みについて
4	知名 正男	沖縄戦:前田高地の戦いと前田住民
5	永山 邦夫 山入端 ケイ子	察 度 王 の 足 跡 を 訪 ね て
6	東内原 克憲	「古都、浦添グスクを観光名所として活かす」 ～復元後は観光客を誘致し浦添の街の発展に結びつける～
7	松田 やす子	～ふるさと“旧小湾集落”は米軍基地の中～
8	与那覇 ヨシ子	浦添市の歴史・史跡に目を向けよう 「尚寧王のロマンの旅を訪ねて」





卒業研究

学部名:文化振興教養学部

氏 名:安慶名 キヨ子

1. テーマ

～仲西の獅子舞の由来と今～

2. テーマ設定理由

浦添市内で獅子舞を演じている地域は、40 団体中 3 団体だけである。

3 団体とも昔からの獅子舞を大切に古老達から若者へ、そして子供達へと伝統芸能を守り育てている。

私は、うるま市から仲西地域へと転居してきたが、十五夜獅子舞で子供獅子舞の演舞を見て感動し、その由来が知りたくてテーマ設定とした。

3. 概要

1. 研究内容

- (1) 仲西の元の所在地は、現在の米軍キャンプキンザー基地内にあった
- (2) 400 年の歴史を持つ伝統行事～仲西獅子舞
- (3) 仲西獅子舞の特徴
- (4) 近年の活動状況
- (5) 区民の皆さんの拠り所としての公民館

2. まとめ

3. 終わりに

※参考文献・資料

- ① 字誌仲西・写真集
- ② 地域内古老からの聴き取り調査

卒業研究

学部名：文化振興・教養 学部

氏 名：垣花律子・仲程邦博

1. テーマ

舜天王

『初代琉球の王・舜天について』

2. テーマ設定理由

文化振興・教養学部は、浦添市の芸術・文化を素材とし文化振興による地域活動ができる文化プロデューサーの育成を目的としています。そのために必要な「企画・演出・宣伝広報・財務・組織力」等の総合力を理論、実践を通じ習得していく必要があります。

その趣旨に基づき、初の琉球王統であり、3代続いた舜天王統の開祖「舜天」が私達の地元牧港に住んでいたというゆかりがあることから、地域活動につながる道を模索したいと考え、今回のテーマとしました。

3. 項立て（概要でも良い）

- 1) 琉球の王統とは
- 2) 舜天（尊敦）誕生
- 3) 源為朝
- 4) 運天港上陸
- 5) 浦添按司誕生
- 6) 利勇の乱
- 7) 舜天王誕生
- 8) 為朝伝説
- 9) まとめと今後の提案

【参考文献】 中山世鑑

新 琉球王統史

卒業研究

学部名：文化振興・教養学部

氏名：國吉 清

1、テーマ

沢峠集落で謡われていた古謡「天^{アマウエーダ}親田」の再現の試みについて

2、テーマの設定理由

アマウエーダは米を作る家長（男性のみ）による農耕儀礼として謡われていた古謡である。厳しい自然環境の中、日々の生活を共同で行いながら絆を強くし生きる生活様式とそれを支える精神（祈り）文化を謡を通して垣間見ることができる。しかし、社会経済の変化に伴ってその伝統行事は衰退・消滅の道をたどるが、第二次大戦による多くの行事担い手の死去はそれを決定的にしたと思われる。現在、その行事で謡われたアマウエーダを謡える人は皆無であるが、幸い祖父や父親が謡っていたのを聞いたことがある方々が数名いる。

アマウエーダとはどのようなものであったのか調査研究し、再現の試みを通して、厳しい自然と向き合いながら共同体としての絆に依拠して生活してきた先人達に学ぶことができればとの思いで取り組んだものである。

3、概要

I テーマ設定理由

II 本論

1 古謡「アマウエーダ」について

- (1) アマウエーダの文学的位置づけ
- (2) アマウエーダについて（採譜事例や解説文献から）
- (3) 現存する南城市字仲村渠のアマウエーダについて（現地調査）

2 沢峠集落で謡われていた「アマウエーダ」について

- (1) アマウエーダーの歌詞について

3 再現の試み（実際に歌って見る）

III 今後の課題

IV おわりに

* 参考文献

- ・ 沢峠字史編集委員会編「字史たくし」
- ・ 外間守善・波照間栄吉編著「定本おもろさうし」角川書店
- ・ 服部四郎・仲宗根政善・外間守善編「伊波普猷」平凡社



1. テーマ 沖縄戦：前田高地の戦いと前田住民

2. 主題設定の理由

前田は、浦添グスク東南、小湾川及び沢岬川上流の標高80～120mの比較的平坦な丘陵地に位置し、集落はその南側に立地している。グスクの懷に抱かれた、グスク前の田圃という意味で前田の名がついたとも言われる。17世紀中頃の資料では約9割が水田と記録されていて、水に恵まれた地域であることがわかる。

90歳代・80歳代のご夫妻に前田の戦前のことをお聞きすると、豊かな自然に恵まれ、米・イモ・果物等が豊富で、正月は豚料理で祝い、8月の十五夜には昼は綱引き、夜は特設の舞台で村芝居、組踊り、前田棒等夜遅くまで楽しんだと言う。その話からその頃の前田集落がのどかで平和、豊かな文化に恵まれたところだったことが伝わってくる。

豊かな文化は、のどかで平和な国・地域からしか生まれない。その対極にあるのが戦争である。その戦争の悲惨を知り、いかに平和が大切であるかを確認することが、きな臭い匂いがうっすら感じられ始めた、今こそ求められている。文化振興の原点、出発点は平和にあると考える。そこから文化が生まれる。

その悲惨な戦闘が69年前にここ前田で行われた。しかも激戦であった。4月1日に本島読谷村の渡具知海岸に上陸した米軍は、本島を南北に分断する作戦をとった。前田高地は東西南北の方向に対して展望がよく利き、米軍の動きや軍司令部がある首里高地も見え、首里の正面防衛の第一線であった。従って、仲間高地に連なる前田高地の確保は、日米両軍にとって沖縄戦の天王山となる地であった。ここでの戦いは、高地の南のなだらかな斜面にある前田集落の住民にも甚大な被害を与え、多くの犠牲者が出た。戦闘が激しくなるさなか、部落に留まるか、南部に避難するか、のいずれかの決断をした家族は何れも多くが辛酸を舐めることとなった。

前田の住民の悲惨な戦争体験を記録することは、体験者の高齢化もあり時間的に切迫している。「聞き取り」を通して、苦勞された方々の記憶を共有し、後世に伝えることは地域に住む者の務めだと思っている。その「聞き取り」をするのは、現在前田に住んでいる私が最適だとの思いから、この主題を設定した。

3. 前田高地の戦いの概要・諸統計資料・体験者の聞き取り、手記

- (1) 前田高地の戦いの概要
- (2) 沖縄戦の浦添村と前田に関する諸資料
- (3) 聞き取り調査内容
- (4) 体験者の手記
- (5) 終わりに

卒 業 研 究

学部名：文化振興・教養学部

氏 名：永 山 邦 夫

山入端 ケイ子

1. テーマ

察度王の足跡を訪ねて

2. 設定理由

察度王は、明国との貿易をはじめ、東南アジアとの交易を発展させて、琉球を繁栄へ導いたことに興味をもち調査研究することにした。

3. 概要

- (1) 古琉球
- (2) 察度王統
- (3) 羽衣伝説
- (4) 振興貿易の始まり（対明貿易）
- (5) 官生（留学制度）の始まり
- (6) 武寧王
- (7) 冊封使

4. おわりに

卒 業 研 究

学部名： 文化振興・教養学部

氏名： 東内原 克憲

テーマ

「古都、浦添グスクを観光名所として活かす」

～ 復元後は観光客を誘致し浦添の街の発展に結びつける ～

1 テーマ設定理由

浦添は、琉球王朝文化の発祥地と云われている。その代表的なものが浦添グスクである。これに関連する数多くの史跡が周辺に残されている。この貴重な遺跡を調査・研究することにより、昔の人々の生活様式や文化を知ることができる。また、復元すれば古琉球の時代がよみがえり、身近な歴史・文化に触れることができる。さらに文化・歴史的に価値のある遺産を観光名所として活かし浦添市の活性化および発展に結びつけるにはどうするか、本研究テーマとした。

2 はじめに

3 推進方策(取組み)

- (1) 浦添城跡の復元・整備
- (2) イベントの開催（グスク祭りの開催）
- (3) モノレール駅と直結した遊歩道の整備
- (4) 公共交通広場の設置
- (5) 観光客の誘致活動

4 おわりに

5 参考資料



卒業研究

学部名：文化振興教養 学部

氏名：松田 やす子

1. テーマ

～ふるさと“旧小湾集落”は米軍基地の中～

2. テーマ設定理由

私の両親、祖父母は旧浦添村字小湾出身である
戦前の字小湾は米軍基地キャンプキンザーの中に集落を形成していた。
しかし、敗戦により人々はすべての財産を米軍に接収され、字宮城へ移住、新集落を築きあげ現在に至っている。
戦後 70 年近くがたち、時代も移り変わり、当時の人々の記憶も薄れつつある。先祖の人々が旧集落から現在に至るまでの道のりと歴史を記録にとどめたいという思いと次世代に語り継げればと、本テーマを設定した。

3. 項立て（概要でも良い）

1、研究内容

- (1) 旧小湾集落の姿(位置・歴史・景観・暮らし)
- (2) 戦後新たな移住地を求めて(集落の建設と歩み)
- (3) 現在の字宮城6丁目(小湾)の姿

2、まとめ

3、終わりに

※ 参考文献・資料

- ① 小湾字誌、写真集
- ② 聞き取り調査(当時の人々)



卒業研究

学部名：文化振興・教養学部

氏名：与那覇ヨシ子

1. テーマ

浦添市の歴史・史跡に目を向けよう

[尚寧王のロマンの旅を訪ねて]

2. テーマ設定理由

首里以前の琉球王国の都は、浦添であった。市内の随所にその名残が認められていて市民の誇りである。浦添グスクに代表される有形の文化遺跡は懸命なく保存、継承されている。当大学で学び、印象に残っている、浦添市に、生まれ住んでいた尚寧王に興味を持ち、自ら浦添市に数十年に住んで、さらに知りたく、研鑽し市民・地域の皆さんに啓蒙したい気持ちで、取り組みました。

3. 項立て（概要でも良い）

1. 研究内容

(1) 概要

(2) 尚寧王の道と場所

(3) 年表

2・まとめと、課題

3・おわりに

☆ 参考文献・資料

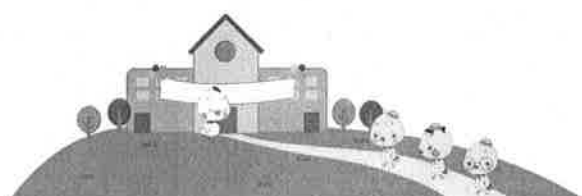
史跡文化財ガイドブック

浦添市史

平成25年度 卒業研究テーマ

地域・学校支援コーディネーター養成学部

	氏 名	テ ー マ
1	大浜 明美	「 結いの心で潤いのある地域に！ 」 ～公園の再生を通して～
2	荻堂 かおり	学校、家庭、地域をつなぐ取り組み ～地域・学校支援のボランティア活動を振り返って～
3	佐渡山美沙子	安心、安全な地域づくりを目指して ～災害時要支援のネットワーク作りを中心に～
4	比嘉 進	自身のボランティア活動を通して 今後の学校支援ボランティアのあり方を考える
5	嶺間 ノブ子	手話ダンスで心と心の架け橋をつくる場づくりを目指して
6	山口 和江	学校用務員として ～用務員の立場からどのような学校支援ができるのかを考える～
7	若林 広子	大阪に戻った場合に自分にできること





卒業研究

地域・学校支援

学部名: コーディネーター養成学部

氏名: 大浜 明美

1. テーマ

結の心で潤いのある地域に
～公園の再生を通して～

2. テーマ設定理由

私は平成24年度から浦添ニュータウン婦人会の会長として、婦人会会員の意識の高揚に既存の活動に美化活動を追加しスタートしました。「公園を再生し花壇をつくる。きれいな環境で子ども達を見守り、地域の憩いの場にする」を目的に平成24年度『まちづくりプラン賞』、平成25年度は『花と緑のフェスタ事業』へ応募することが出来ました。

公園の管理は婦人会会員や地域の方々に関わってもらいました。そこで、一人ひとりが心を寄せ合い共働することで繋がっていき、潤いのある地域になることを願い本テーマを設定しました。

3. 項立て(概要でも良い)

- (1)はじめに
- (2)まちづくりプラン賞へ応募
- (3)花と緑のフェスタ事業へ応募
- (4)共働の場づくり
- (5)成果と課題
- (6)おわりに



卒業研究

地域・学校支援

学部名：コーディネーター養成学部

氏名： 荻堂 かおり

1. テーマ

学校、家庭、地域をつなぐ取り組み

～ 地域・学校支援ボランティア活動を振り返って ～

2. テーマ設定理由

現在、子どもを通して、地域や学校でさまざまな活動に携わっている。地域の子は地域で育てる…まさに、私が子どもの頃はそれが自然であった。

私が子を持つようになった今、その自然だった風景が少なくなったと感じる。道行く子に簡単に声かけすることすらできない状況は地域コミュニティの危機である。自分の子どもを地域の中で育てたい…その思いから今の活動に至る。

しかし、学校と家庭、学校と地域、地域と家庭それぞれの結びつきはどうだろうか。地域や学校で支援ボランティアとして活動しながらその結びつきの弱さを実感している。『子どもたちを通して、学校や地域を強く結びつけたい』『子どもたちが、学校や地域に愛着をもてるようにしたい』私にできる役割について考えたいと本テーマを設定した。

3. 項立て

1. テーマ設定理由

2. 研究内容

(1) 学校での活動

①読み聞かせボランティア

②家庭教育学級

③みやぎっ子放課後子ども教室

④PTA 活動

(2) 地域での活動

①小湾自治会及び子ども会育成会

②みらい子育てねっとこのゆびと～まれ！

3. 成果と課題

4. 今後の取り組み

5. 終わりに



卒業研究

学部名： 地域・学校支援コーディネート養成学部

氏 名： 佐渡山美沙子

1、テーマ

安心安全な地域づくりを目指して
～災害時要支援者のネットワークづくりを中心に～

2、テーマ設定理由

2011年3月11日の東日本大震災後、人々の災害に関する関心は高まっている。特に地域においては、災害時における高齢者や障害のある方への支援体制づくりが求められている。災害における被害を最小限に食い止めるために何を、どのようにすべきか、宮城自治会では災害時に支援が必要な人数を調査したところ、20名が要支援であることが分かった。そこで、自治会や地域支援センターと連携協力し「災害時ひとりも見逃さない」を目標に避難場所の確認とルートマップの作成で、支援体制を強化し、安心で安全な地域づくりへとつなげていきたいと考え、本テーマを設定した。

3、項立て（概要でもよい）

<概要>

- 1、災害時、要支援者の情報交換、共有
- 2、要支援者の避難ルートマップの作成
- 3、連絡表の作成
- 4、まとめ

・ 成果

・ 課題

参考資料

浦添市災害時要支援者避難支援計画



卒業研究

学部名： 地域・学校支援コーディネータ養成学部

氏 名： 比嘉 進

1、テーマ

～自身のボランティア活動を通して～

今後の地域・学校支援ボランティアのあり方を考える

2、テーマ設定理由

現在やっている学校支援ボランティア活動を、今後どう継続していか、また新たな活動の参加実施とコーディネートをするための考え方、それに向けてのやらなければいけない行動をしっかりと考えた。

3、活動の紹介

1、現状の分析

1、現在参加しているボランティア内容

- ①浦添小学校読み聞かせ
- ②同、丸つけボランティア
- ③仲西小、学校学習ボランティア、宿題センター
- ④宮城小、学習ボランティア、PCで補修学習
- ⑤県立博物館ボランティア
- ⑥その他、都度発生する各種ボランティア

2、成果と課題

3、今後の対応

<資料>活動風景写真等

卒業研究



学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏名：嶺間ノブ子

1. テーマ

手話ダンスで心と心の架け橋をつくる場づくりを目指して

2. テーマ設定理由

私は現在ハーモニーセンターで手話ダンスサークルを結成し、サークル活動をしています。地域の学校や福祉施設等から依頼があれば喜んで出かけて行きます。手話ダンスは歌詞を手話で表現し、ステップを付けて踊ります。

幼児、児童、高齢者と幅広く、聴こえる、聴こえないの壁を越えるだけでなく、利用者に健康と笑顔を与えると共に仲間作りの輪を広げたいと思い、本テーマを設定した。

市民大学での学びを生かし、地域に貢献できる場があれば頑張りたいと思います。

3. 項立て（概要でも良い）

1. テーマ

2. テーマ設定

3. 本論

(1) これまでの活動

(2) 地域との連携

(3) 学校との連携

(4) 福祉施設との連携

(5) サークルの人材育成

3. 今後のまとめ（成果と課題）

4. おわりに（謝辞）

※ 写真

※参考資料・文献等

卒業研究

学部名：地域・学校支援コーディネータ養成学部

氏名：山口 和江

1. テーマ

私の小さなお手伝い
～先生方の声より～

2. テーマ設定理由

近年学校現場の先生方の忙しさと言ったら計り知れないものがある。
実際私自身も学校用務員として日々仕事に追われ毎日を坦々と過ごしている
有様である。
そこで市民大学で学んだことをきっかけに学校に携わる者として空いている
時間を活用して取組可能な学校支援を考えてみようと思い本テーマを設定した。

3. 項 立て

- 1、はじめに
- 2、活動のきっかけと支援
 - (1) 学芸会の衣裳作り
 - (2) 町たんけんの引率
 - (3) エプロンの補修
 - (4) 収穫祭
 - (5) 朝の支援を要する児童たち
- 3、最後に

卒業研究

学部名：地域学校支援コーディネーター養成学部

氏 名：若林広子

1. テーマ

大阪に戻った場合に自分にできそうなこと

2. テーマ設定理由

就職で2年前に沖縄に来ました。高校生の教科書「琉球・沖縄史」を読んで沖縄の歴史が本州とは違うことがわかりました。沖縄の人たちは本州の人たちと違う価値観を持っていると思い、市民大学はそれを知ることができる場所だと思い入学を希望しました。

今回大阪へは家庭の事情で戻ります。大阪に無くて沖縄にある、人とのつながりを大切にするなど、沖縄のいいところを大阪でも取り入れることができれば、大阪も住みごちのいいところになると思います。

3. 項立て（概要でも良い）

1. テーマ設定理由

2. 研究内容

（1）沖縄での2年間を通して

- ①沖縄にきてびっくりしたこと
- ②大阪にいる自分の周りの人たちの生活
- ③大阪に戻った場合に自分にできそうなこと
- ④まとめ

（2）お礼

（3）参考資料

